

2010年6月期(第14期) 決算説明会

株式会社 ディーバ
(証券コード3836 ヘラクレス)

2010年8月4日

DIVA®

I. 2010年6月期 決算概要

II. 経営環境と中長期成長戦略

* 資料内の数値は表示単位未満を四捨五入で表示し、その数値より百分率を算出しております。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われぬようお願いいたします。

I. 2010年6月期 決算概要

II. 経営環境と中長期成長戦略

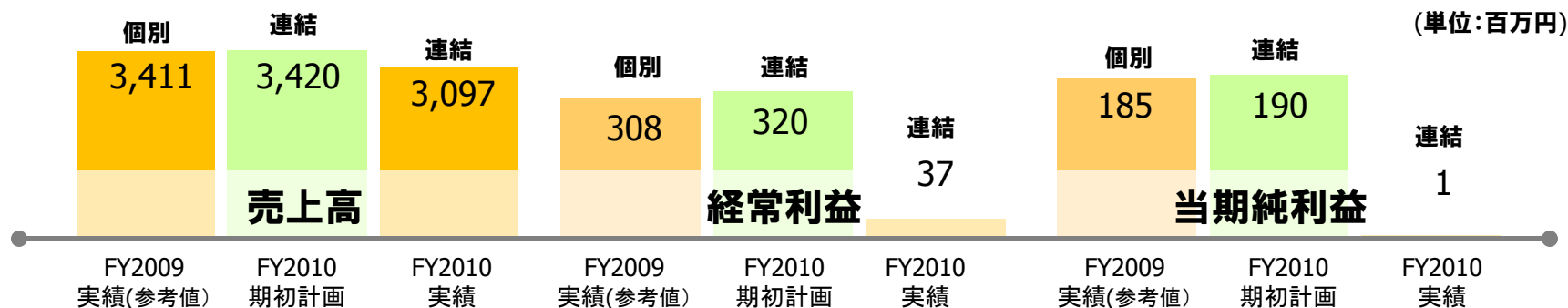
2010年(平成22年)6月期 決算概要

□ 上場来初の減収減益

- 市況悪化による企業の投資抑制、受注競争激化による販売価格低下による売上減にコスト削減効果及ばず

□ 対期首計画比、売上・利益とも未達

※ 2009年11月に株式会社インターネットディスクロージャーの株式を取得したため、当期より連結決算を実施しております。
従って2009年6月期の実績は個別業績の数値を参考値として掲載しております。



(単位:百万円)	2009年6月期		2010年6月期		2010年6月期		前期増減	前期比 (%)
	個別・実績 (参考値)	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
売上高	3,411	(100.0)	3,420	(100.0)	3,097	(100.0)	△314	△9.2
売上原価	1,548	(45.4)	-	(-)	1,630	(52.6)	82	-
売上総利益	1,863	(54.6)	-	(-)	1,467	(47.4)	△396	-
販管費及び一般管理費	1,544	(45.3)	-	(-)	1,414	(45.7)	△130	-
営業利益	319	(9.4)	330	(9.6)	53	(1.7)	△266	△83.4
経常利益	308	(9.0)	320	(9.4)	37	(1.2)	△271	△88.0
当期純利益	185	(5.4)	190	(5.6)	1	(0.0)	△184	△99.5

事業セグメント別 売上高・受注残高

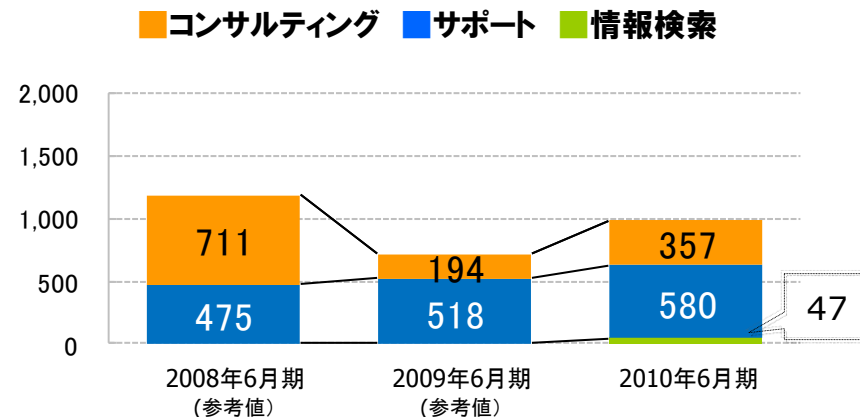
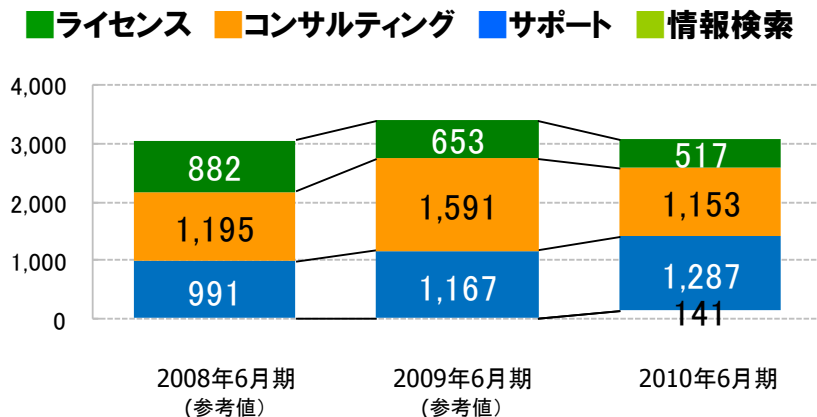
売上高

- 新規市場冷え込みによるライセンス減、追加提案強化もコンサルティング減
ストック型ビジネスは堅調:従来のサポートに加え、当期より情報検索を売上計上

受注残高

- コンサルティング:357百万円 (前年同期比84.0%増)

(単位:百万円)



(単位:百万円)	2008年6月期 (参考値)	2009年6月期 (参考値)	2010年6月期	前期比(%) (2009vs2010)
ライセンス	882	653	517	△20.8
コンサルティング	1,195	1,591	1,153	△27.5
サポート	991	1,167	1,287	+10.3
情報検索	-	-	141	-
合計	3,068	3,411	3,097	△9.2

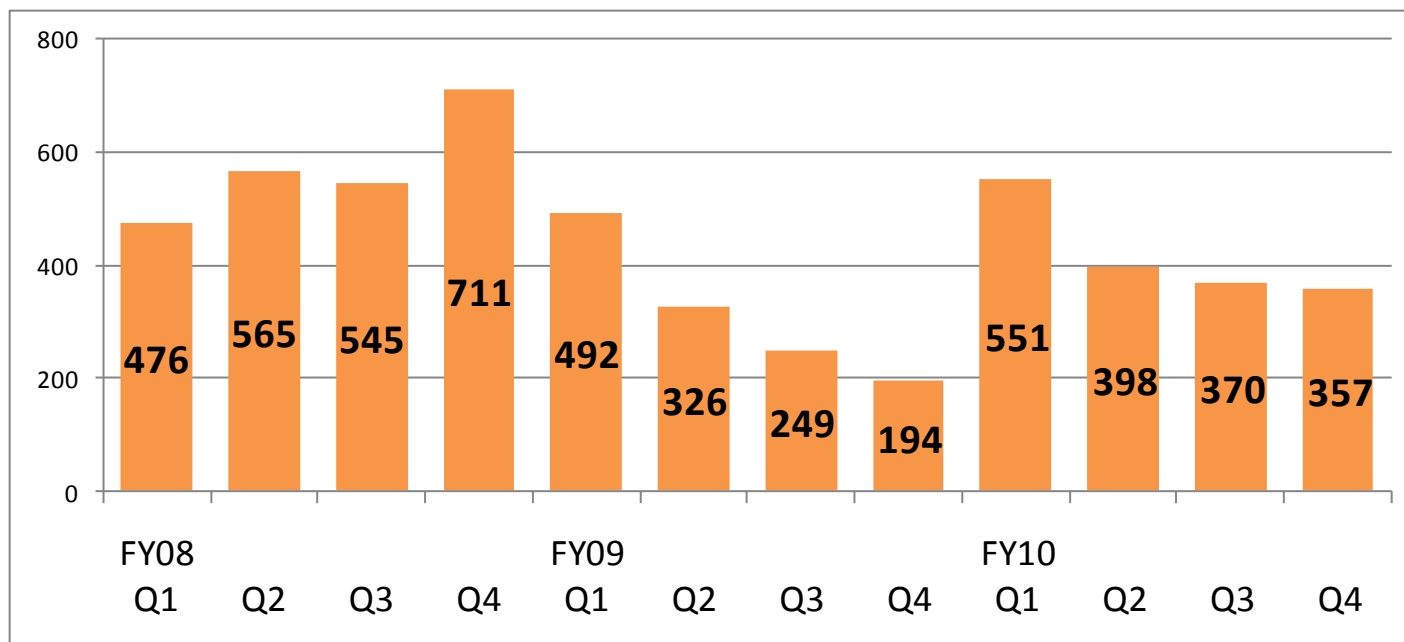
(単位:百万円)	2008年6月期 (参考値)	2009年6月期 (参考値)	2010年6月期	前期比(%) (2009vs2010)
ライセンス	-	-	-	-
コンサルティング	711	194	357	+84.0
サポート	475	518	580	+12.0
情報検索	-	-	47	-
合計	1,186	712	984	+38.2

受注残高の推移

- 既存顧客への提案強化が奏功し、第1四半期に大幅回復
- 第2四半期以降は、3.5億～4億円水準を維持

コンサルティングサービス受注残高の推移

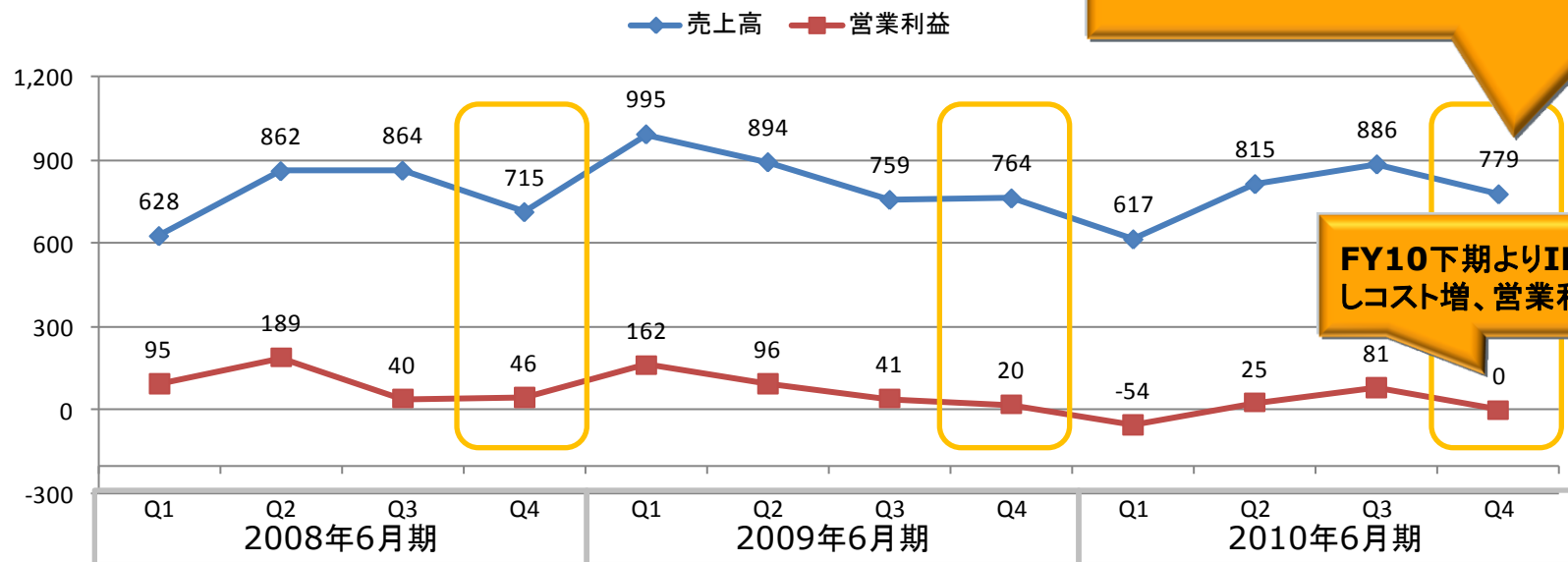
(単位:百万円)



※2008年6月期および2009年6月期は個別業績です。

四半期別 売上高・営業利益

3月決算企業のIT投資意欲が慎重になる第4四半期(4月~6月)も、FY09、FY08と比較し、FY10第4四半期の売上は微増

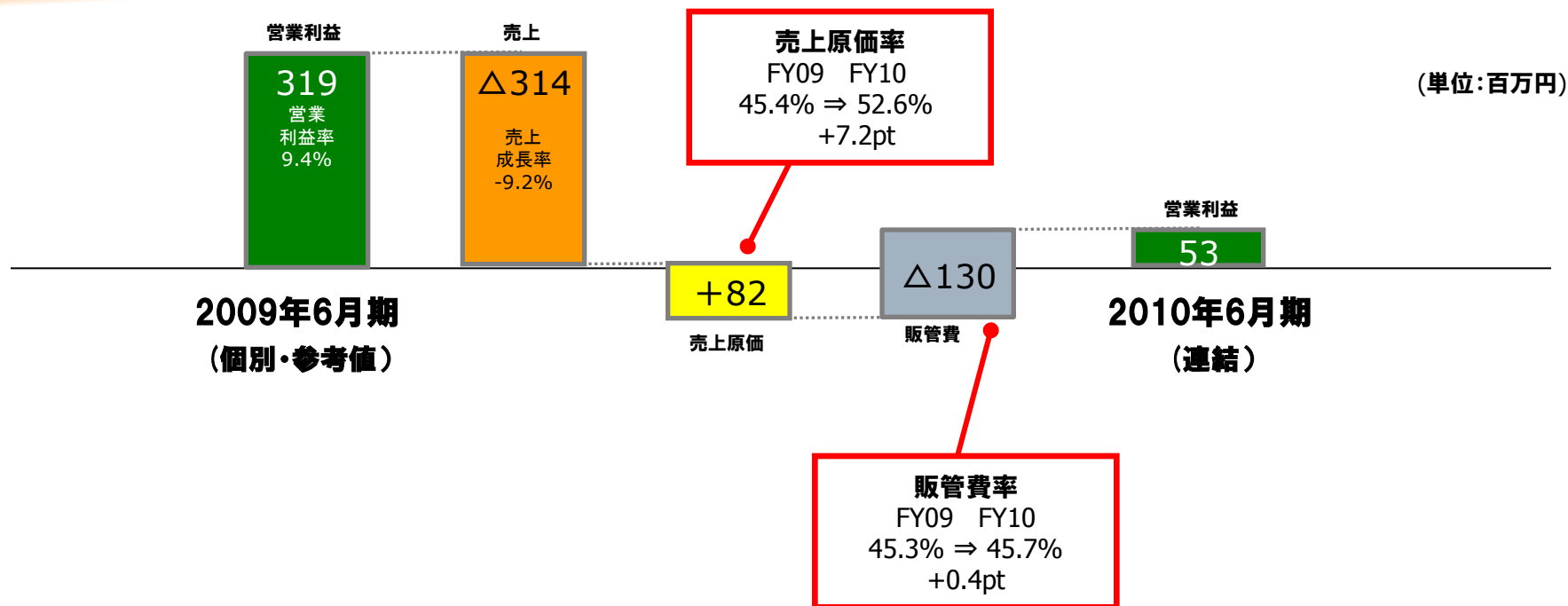


FY10下期よりID社を連結しコスト増、営業利益減少

(単位:百万円)	2008年6月期 個別・参考値				2009年6月期 個別・参考値				2010年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	628	862	864	715	995	894	759	764	617	815	886	779
売上原価	208	292	352	272	403	401	378	366	332	418	451	430
売上総利益	420	570	512	443	592	493	381	398	285	398	435	349
販管費及び一般管理費	325	381	472	397	430	397	340	377	339	372	354	349
営業利益(損失)	95	189	40	46	162	96	41	20	△54	25	81	0
経常利益(損失)	95	186	39	44	162	94	40	13	△58	22	76	△3
四半期純利益(損失)	49	110	22	24	95	55	23	11	△31	0	68	△37

※2008年6月期および2009年6月期は個別業績です。

営業利益の増減要因



2010年
6月期

- 売上原価額、売上原価率ともに増加
 - ・売上原価額: 単体での人件費の純増ならびに連結子会社の原価加算により増加
 - ・売上原価率: 売上高減少により7.2pt増の52.6%
- 販管費額130百万減も、販管費率増
 - ・販管費額: コスト削減効果により低下
 - ・販管費率: 売上高減少幅を吸収できず0.4pt増の45.7%

財務・キャッシュフローの状況

財務状況

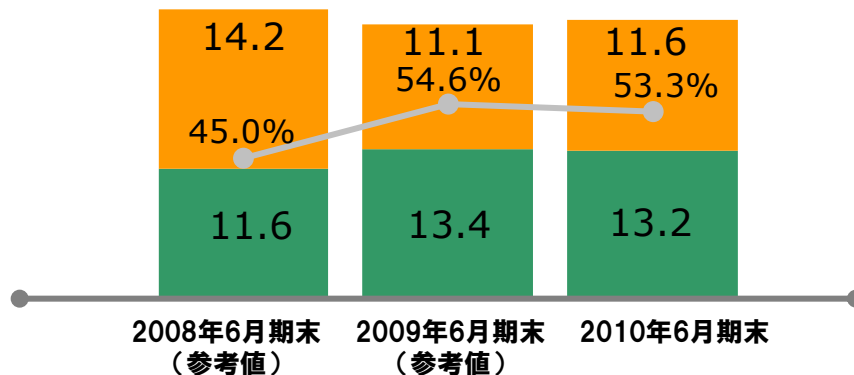
2010年6月期 期末



純資産・負債・自己資本比率

■ 負債 ■ 純資産 ● 自己資本比率 (%)

※2008年6月期末および2009年6月期末は個別数値です。(単位: 億円)



キャッシュフロー

(単位: 百万円)

	2009年 6月期 (参考値)	2010年 6月期
営業CF	325	65
投資CF	△172	△70
財務CF	△157	△92
フリーCF	153	△5

主な資金の増減要因

減価償却費	98百万円
前受収益の増加	115百万円
税金等調整前当期純利益	2百万円
法人税等の支払い	△67百万円
たな卸資産の増加	△46百万円
未払金の減少	△42百万円
有形固定資産の取得による支出	△11百万円
無形固定資産の取得による支出	△47百万円
長期借入金の返済及び社債の償還	△47百万円
ファイナンスリース債務の返済	△51百万円
配当金支払	△24百万円

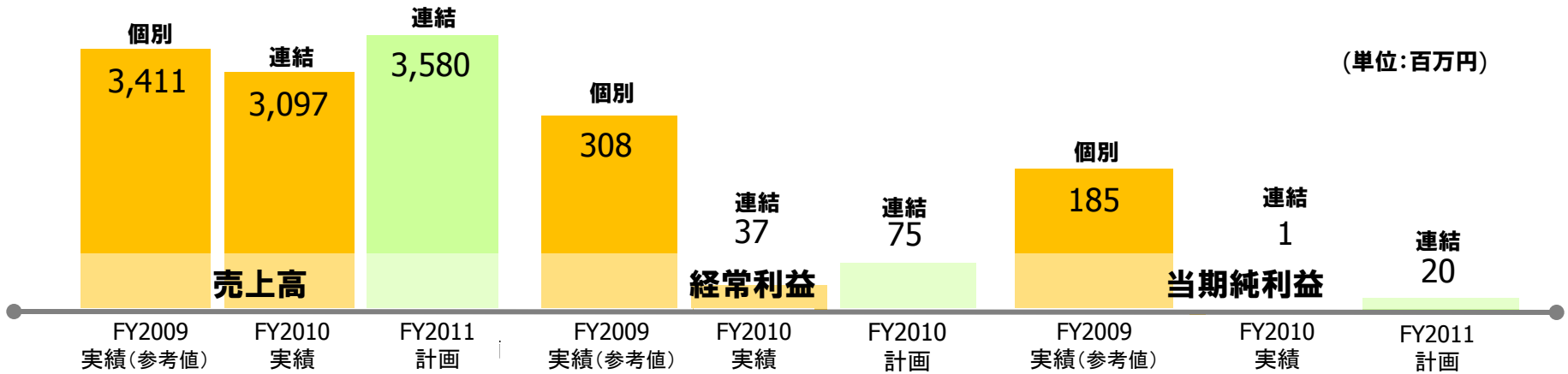
- **企業の投資抑制と受注競争激化で減収も、既存顧客への追加提案による受注成果は上がる**
 - 企業のIT投資の厳しい選別で新規大型案件が減少
 - 受注競争激化のため、ライセンス販売価格が低下
 - 顧客企業とのリレーション強化と機能拡張提案により、コンサルティングサービス受注は回復基調

- **コスト削減と生産性の向上に努めるも、売上高の減少により営業利益、当期純利益ともに減**
 - IFRS市場の需要拡大に向けた戦略的投資は継続
 - 更なる合理化と顧客への貢献力向上のため、本社事務所の移転を決定

2011年(平成23年)6月期 通期計画

- 連結売上高:3,580百万円
- 連結経常利益:75百万円

※ 2009年11月に株式会社インターネットディスクロージャーの株式を取得したため、当期より連結決算を実施しております。従って2009年6月期の実績は個別業績の数値を参考値として掲載しております。



(単位:百万円)	2009年6月期		2010年6月期		2011年6月期第2四半期		2011年6月期		FY2010 vs FY2011 前期比(%)
	個別・実績(参考値)	(%)	連結・実績	(%)	連結・計画	(%)	連結・計画	(%)	
売上高	3,411	(100.0)	3,097	(100.0)	1,700	(100.0)	3,580	(100.0)	+15.6
売上原価	1,548	(45.4)	1,630	(52.6)	-	-	-	-	-
売上総利益	1,863	(54.6)	1,467	(47.4)	-	-	-	-	-
販管費及び一般管理費	1,544	(45.3)	1,414	(45.7)	-	-	-	-	-
営業利益(損失)	319	(9.4)	53	(1.7)	△85	(5.0)	90	(2.5)	+69.8
経常利益(損失)	308	(9.0)	37	(1.2)	△95	(5.6)	75	(2.1)	+102.7
当期純利益(損失)	185	(5.4)	1	(0.0)	△125	(7.4)	20	(0.6)	+1900.0

I. 2010年6月期 決算概要

II. 経営環境と中長期成長戦略

□ 経営環境

- 顧客企業の業績は回復基調にあるも、IT投資には慎重な姿勢が継続
- 2012年のIFRS適用時期判断を見据えた買い控えも

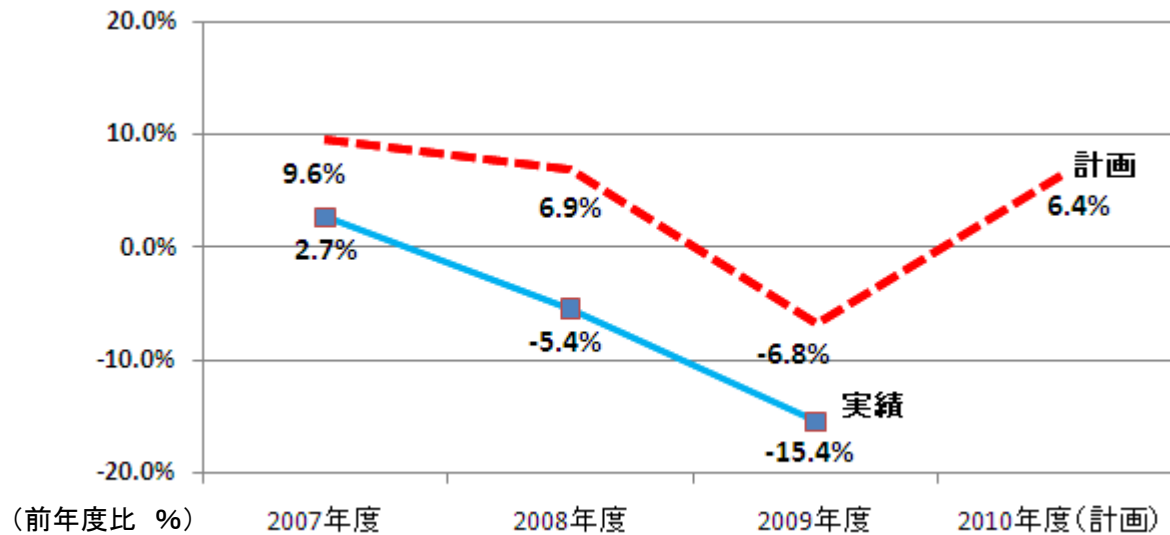
□ 中長期成長戦略

- IFRS時代の企業経営情報インフラを提供
- 上場企業を中心とするIFRS対応需要の獲得
- IFRSの世界標準化を契機に海外市場へ展開

経営環境分析① 企業のシステム投資意欲

- 短観予測：企業のシステム投資に対する姿勢は依然慎重
 - 08～09年度のシステム投資額は計画を大きく下回り減少
 - 10年度計画は回復基調も、金融危機以前の水準には遠い

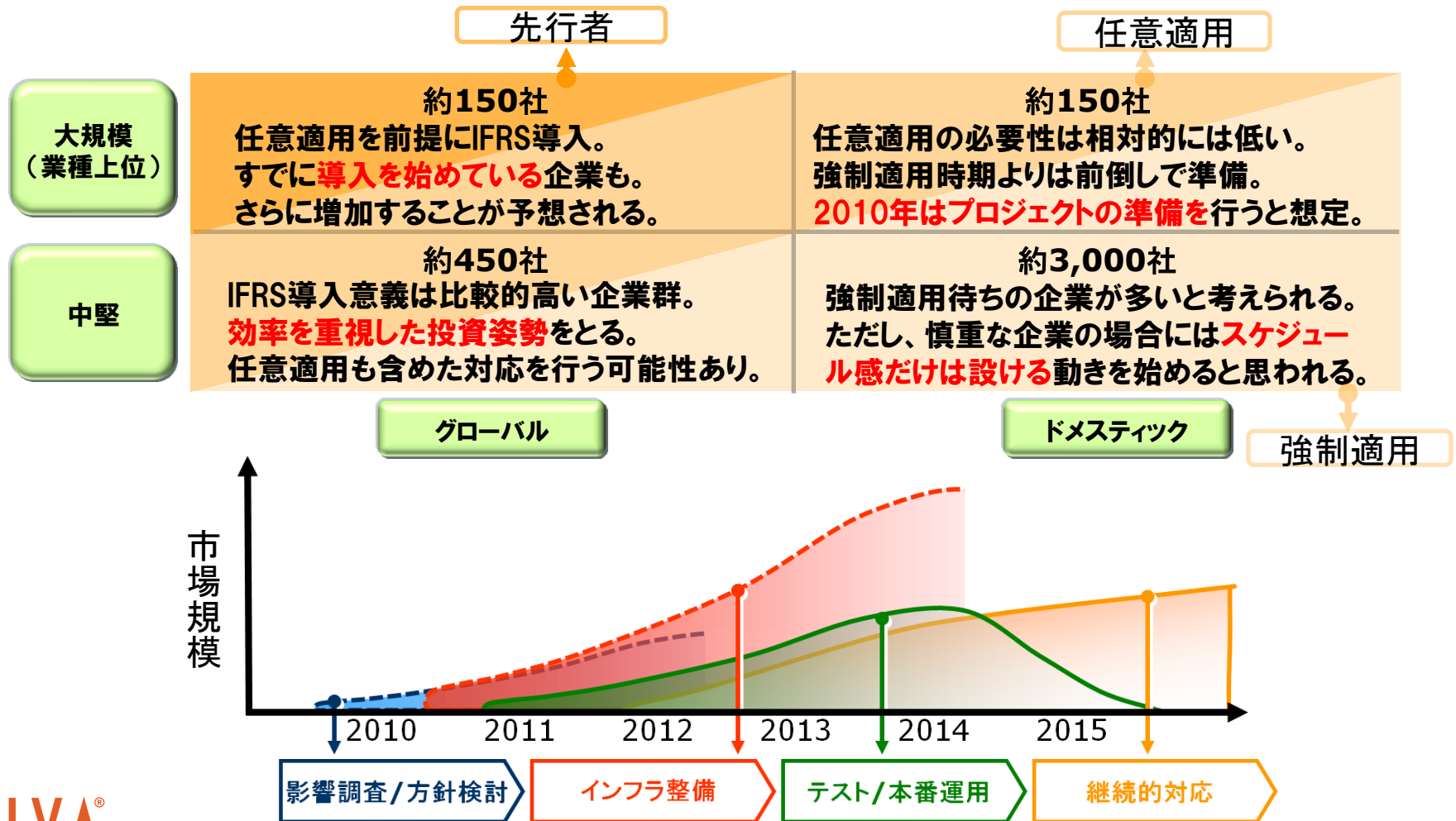
大企業におけるソフトウェアを含む設備投資額(前年度比増減、土地投資額除く)



出典：日本銀行短観(要旨)2010年6月

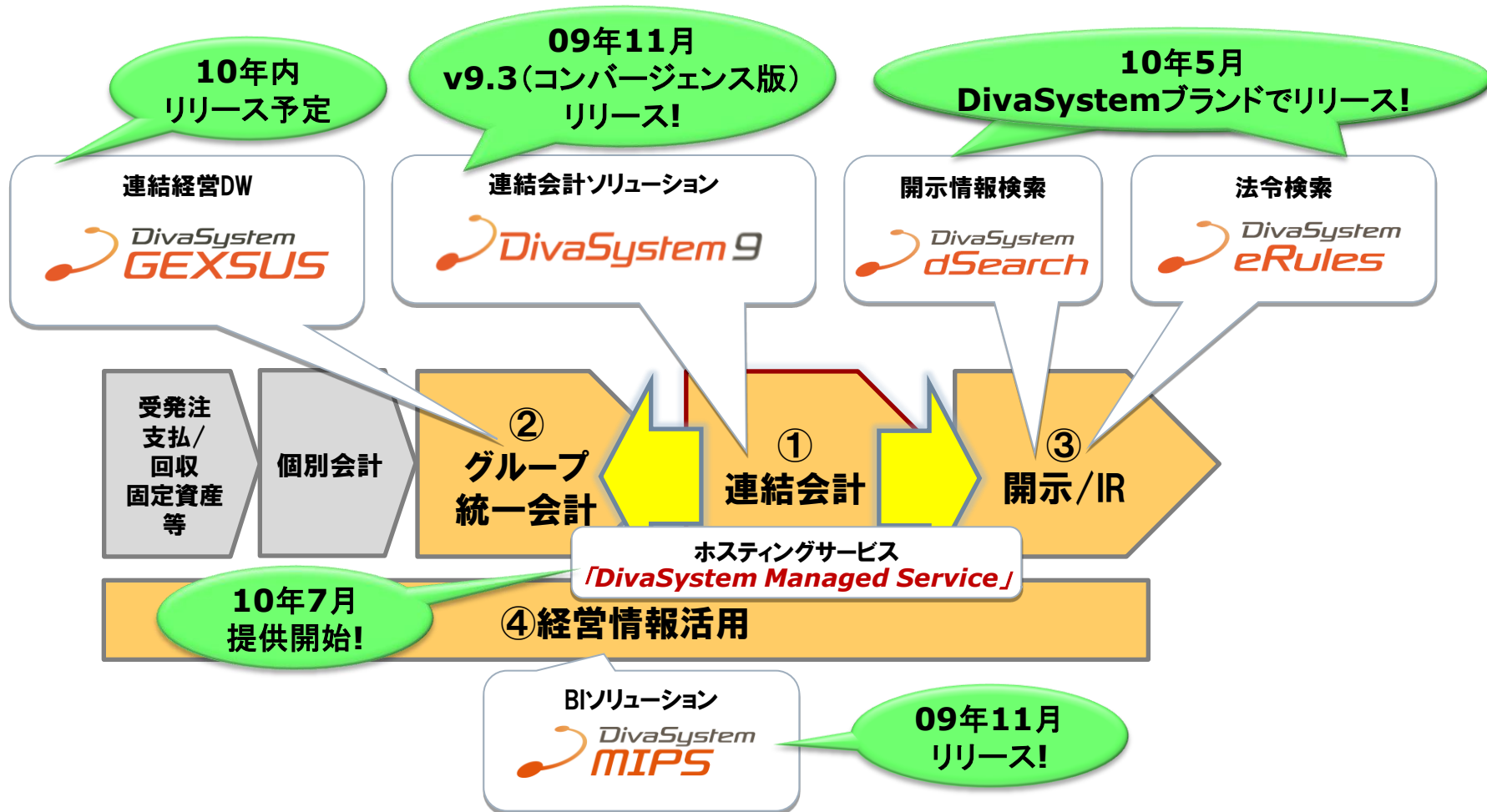
経営環境分析② IFRS適用にともなう需要トレンド

□ 2015年(予定)のIFRS強制適用を控え、2010年は「先行者」グループの動きが中心となる



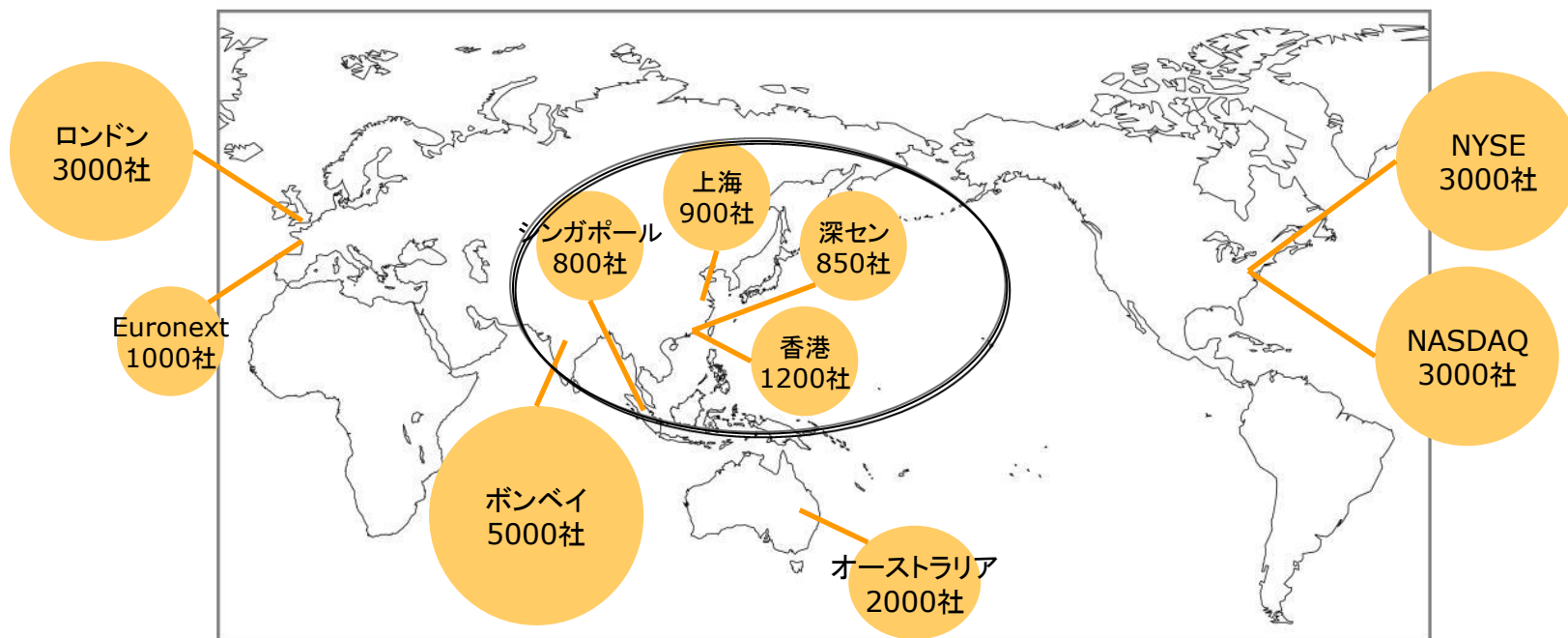
中長期成長戦略 ソリューション領域の拡充

□ IFRS適用需要の収束後も、企業経営情報インフラを提供すべくソリューション領域を拡充



中長期成長戦略 海外市場

- 各証券市場に上場する企業に企業経営情報インフラを提供
- 東アジアを中心に海外事業を展開



IFRS時代の企業経営情報インフラを提供

日本でのIFRS適用は目前、
上場企業を中心とするIFRS対応需要の獲得

提供ソリューション領域を拡大、
IFRSの世界標準化を契機に海外市場へ展開

DIVA®

参考資料

企業概要

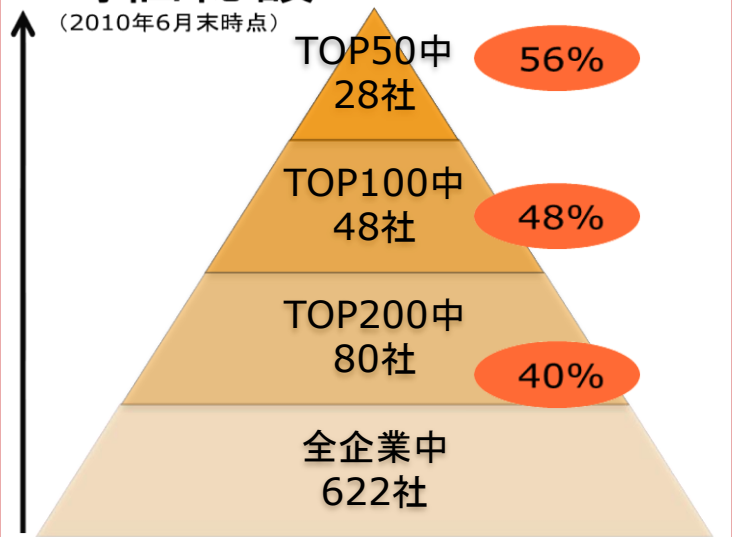
社名	株式会社ディーバ (銘柄コード:3836 大証ヘラクレス 2007年2月上場)
設立	1997年5月26日
メンバー	256名(連結ベース:2010年7月現在)
資本金	2億8,640万円
所在地	東京本社、大阪オフィス、名古屋オフィス
関係会社	株式会社インターネットディスクロージャー DIVA AMERICA (ともに100%子会社)
決算概要	2010年6月期 連結売上高: 3,097百万

ディーバのお客様

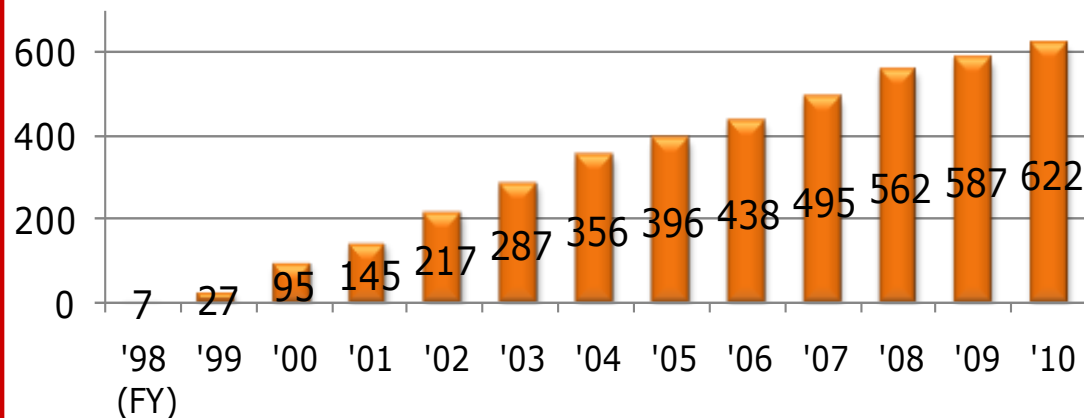
622社の日本を代表する企業グループがお客様
(連結子会社数:約24,000社)

時価総額

(2010年6月末時点)



お客様の構成



ご利用中のお客様数

<IR関連お問合せ先>

電話：03-5480-7600

Email：IR@diva.co.jp

担当：遠藤、守田